

| | | | |
|-------------|---|---------|-----|
| 履修コード/科目名称 | 550101 / 健康・スポーツ実習 550102 / 健康・スポーツ実習 | | |
| 開講年度 | 2021年 | 開講曜日・時限 | 月・1 |
| 担当教員氏名(カナ) | 瀧本 誠 (タキモト マコト) | | |
| 副担当教員氏名(カナ) | 下谷内 勝利 (シモヤチ カツトシ) 岡野 友美子 (オカノ ユミコ) 岩本 哲也 (イワモト テツヤ) 柳 浩二郎 (ヤナギ コウジロウ) 原田 沙織 (ハラダ サオリ) 江口 淳一 (エグチ ジュンイチ) 小山 桂史 (コヤマ ケイシ) 末次 美樹 (スエツグ ミキ) | | |

| | | | |
|------------|------------------------------------|---------|-----|
| 履修コード/科目名称 | 550101・550102 / 健康・スポーツ実習 (トレーニング) | | |
| 開講年度 | 2021年 | 開講曜日・時限 | 月・1 |
| 担当教員氏名(カナ) | 瀧本 誠 (タキモト マコト) | | |

| | | | |
|-----------|--|--|--|
| 授業概要 | 各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニング等を行う。ウエイトトレーニングでは、ルーム内に置かれているマシンを使用し、自己管理の下、各自で行う。 | | |
| 到達目標(ねらい) | <p>トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力を出来るだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行う練習、訓練である。</p> <p>近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化などから、日常の筋肉運動が少なくなり、且つ、また進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰により肥満傾向になるなど、日常生活における身体運動の必要性が高まっている。日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力の低下が見られ若年者でありながら成人病に陥り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。</p> | | |
| 授業スケジュール | 第1回 | オリエンテーション C-Learningで実施（全員オンライン、オンデマンド型） | |
| | 第2回 | 種目選択・種目別ガイダンス | |
| | 第3回 | トレーニング開始 毎時間、1/4～3/4の負荷を選び5～8種目のマシンを、2～3 | |
| | 第4回 | 有酸素運動と心拍数の関係を解説 トレーニング | |
| | 第5回 | トレーニングの間隔と効果の解説・実行 トレーニング | |
| | 第6回 | ストレッチ（立位）実行と解説 トレーニング | |
| | 第7回 | ストレッチ（座位）実行と解説 トレーニング | |
| | 第8回 | 運動と平衡バランスの実行と解説 トレーニング | |
| | 第9回 | トレーニング | |
| | 第10回 | トレーニング | |
| | 第11回 | 『背骨』に良いストレッチの解説と実行 トレーニング | |
| | 第12回 | トレーニング | |
| | 第13回 | トレーニング | |
| | 第14回 | トレーニング | |
| | 第15回 | まとめ <授業の内容は前後する場合があります。> | |
| 準備学習 | 特に無し | | |
| 履修上の留意点等 | <p>全授業回を対面で実施します。 オンラインのみでの授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型等)を実施する場合があります。 ・第1回目の授業は、全員オンラインでオリエンテーションを実施します。 授業の概要や2回目以降の授業実施について説明いたします。 C-Learningで受講し資料を参照し、課題を提出してください。</p> <p>・運動に適したスポーツウェアとシューズを着用してください。</p> <p>・オンライン授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型等) 1. C-Learning や Google Meet 等の学内システムを用いて、資料配信、音声解説、動画等を使用して授業を行い、課題を提出してもらいます。2. 軽運動を実施する内容が含まれる授業回もあります。</p> | | |

| | | |
|----------------------------------|--|------|
| 成績評価の方法 | 40% | 平常点 |
| | 60% | 総合評価 |
| | 出席、授業への取り組み態度、意欲を総合して成績評価する。 | |
| 教科書/テキスト | | |
| 参考書 | | |
| 学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について | 前年度「学生による授業アンケート」において、「熱心に授業に取り組めた」項目が高評価であった。更に学生が主体的に授業に取り組めるように環境を整える予定である。 | |
| 関連リンク | | |
| 実務経験がある教員による授業科目 | | |

| | | | |
|------------|--------------------------------|---------|-----|
| 履修コード/科目名称 | 550101・550102 / 健康・スポーツ実習 (卓球) | | |
| 開講年度 | 2021年 | 開講曜日・時限 | 月・1 |
| 担当教員氏名(カナ) | 下谷内 勝利 (シモヤチ カツシ) | | |

| | | | |
|-----------|--|--|--|
| 授業概要 | 卓球の基本技術を学習した後、シングルス、ダブルスの順にゲームを展開する。 | | |
| 到達目標(ねらい) | 上記の過程で卓球というスポーツへの理解を深めてもらうと同時に、生涯スポーツのひとつとしてその基礎を築くことを目標とする。 | | |
| 授業スケジュール | 第1回 | オリエンテーション C-Learningにて実施 (全員オンライン、オンデマンド型) | |
| | 第2回 | 種目選択・種目別ガイダンス | |
| | 第3回 | ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形、簡易ゲーム | |
| | 第4回 | フォアハンドドライブ、シングルスリーグ戦 | |
| | 第5回 | フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方、シングルスリーグ戦 | |
| | 第6回 | バックハンドショートの打ち方、シングルスリーグ戦 | |
| | 第7回 | カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスリーグ戦 | |
| | 第8回 | カット&ドライブリターン、シングルスリーグ戦 | |
| | 第9回 | スマッシュ(3球目)、シングルスリーグ戦 | |
| | 第10回 | ダブルスゲームの行い方、ダブルスゲームの練習、ダブルスリーグ戦 | |
| | 第11回 | ダブルスリーグ戦 | |
| | 第12回 | ダブルスリーグ戦 | |
| | 第13回 | ダブルスリーグ戦 | |
| | 第14回 | ダブルスリーグ戦 | |
| | 第15回 | ダブルスリーグ戦 | |
| 準備学習 | 卓球のルールを必ず予習しておいてほしい。テレビ等で卓球の試合が放送される場合は、テレビ観戦してもらいたい。 | | |
| 履修上の留意点等 | <p>グループ毎にリーグ戦を行うため、30分以上の遅刻は認めないものとする。 服装は、一般的なスポーツウエアとするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。 教場への携帯電話の持込厳禁。 新型コロナウイルス感染対策のためマスクを着用すること。 全授業回対面で行う予定であるが、第1回目の授業はC-Learningにて実施する。 コロナ対策でオンライン授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型等)になった場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. C-Learning や Google Meet 等の学内システムを用いて、資料配信、音声解説、動画等を使用して授業を行い、課題を提出してもらう。 2. 軽運動を実施する内容が含まれる授業回もある。 | | |
| 成績評価の方法 | 70% | 平常点 | |
| | 30% | 実技点 | |
| | 授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、平常点70%、実技点30%の割合で評価する。遅刻、欠席は減点の対象とする。実技点はシングルのランキングにて判定する。 | | |
| 教科書/テキスト | | | |
| 参考書 | | | |

| | |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| 学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について | オンライン授業であったことから卓球(種目別)についてのアンケートは未実施 |
| 関連リンク | |
| 実務経験がある教員による授業科目 | |

| | | | |
|----------------------------------|--|--|-----|
| 履修コード/科目名称 | 550101・550102 / 健康スポーツ実習 (ダンス) | | |
| 開講年度 | 2021年 | 開講曜日・時限 | 月・1 |
| 担当教員氏名 (カナ) | 岡野 友美子 (オカノ ユミコ) | | |
| 授業概要 | この授業では、ダンスのための体づくり(舞踊身体育成法)を行い、各部位のストレッチ、腹筋、背筋を中心とした補強運動をリズムカルな曲を利用して行う実技授業である。身体運動文化である様々なダンスを学習することを通して、ダンスを踊る楽しさを味わい、生涯体育として健康の維持・増進を図る。 | | |
| 到達目標 (ねらい) | この授業では、①身体運動文化としてのダンスの意味②各種ダンスの特徴理解③動きの要素④振りの特性の4つを理解した上で基本的な動きの技術要素を習得。個人、グループで踊ることの楽しさを味わいながら、集団演技で隊形変化を工夫し、自らのオリジナル作品を創作・発表できる力を習得していく。 | | |
| 授業スケジュール | 第1回 | オリエンテーション C-Learningで実施(全員オンライン、オンデマンド型) | |
| | 第2回 | 種目選択・種目別ガイダンス | |
| | 第3回 | エアロビクスの基本ステップ(心肺機能の強化) | |
| | 第4回 | ステップの組み合わせ①(コンビネーション) | |
| | 第5回 | ステップの組み合わせ②(コンビネーション) | |
| | 第6回 | ダンスの基本テクニック(ステップ、ジャンプ、ターンなど) | |
| | 第7回 | ダンステクニックを組み込んだ作品 | |
| | 第8回 | 動きの変化、組み合わせを工夫 | |
| | 第9回 | フロアの移動、方向の変化を工夫 | |
| | 第10回 | 課題のまとめ(個人、グループ) | |
| | 第11回 | 構成・振付をグループで話し合い作品を創作 | |
| | 第12回 | グループ創作① | |
| | 第13回 | グループ創作② | |
| | 第14回 | グループ創作③(発表) | |
| | 第15回 | まとめ(作品観賞) | |
| 準備学習 | 日常動作にない動きを要するので、各部位のストレッチをしておくといよい。 | | |
| 履修上の留意点等 | <p>全授業回を対面で実施します。</p> <p>オンラインのみでの授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型等)を実施する場合があります。</p> <p>○第1回目の授業は、全員オンラインでオリエンテーションを実施します。</p> <p>授業の概要や2回目以降の授業実施について説明いたします。</p> <p>C-Learningで受講し資料を参照し、課題を提出してください。</p> <p>○対面授業では運動に適したスポーツウェアとシューズで受講してください。</p> <p>○オンライン授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型等)</p> <p>1. C-Learning や Google Meet 等の学内システムを用いて、資料配信、音声解説、動画等を使用して授業を行い、課題を提出してもらいます。</p> <p>2. 軽運動を実施する内容が含まれる授業回もあります。</p> | | |
| 成績評価の方法 | 60% | 演技発表 | |
| | 30% | 基本的な動きの技術の到達度 | |
| | 10% | 平常点 | |
| 教科書/テキスト | 特になし | | |
| 参考書 | 使用しない。適宜プリントと資料を配布する。 | | |
| 学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について | 学生が楽しく行えるよう丁寧な指導を心掛けていきたいと思ひます。 | | |
| 関連リンク | | | |

| | | | |
|------------|----------------------------------|---------|-----|
| 履修コード/科目名称 | 550101・550102 / 健康・スポーツ実習 (サッカー) | | |
| 開講年度 | 2021年 | 開講曜日・時限 | 月・1 |
| 担当教員氏名(カナ) | 岩本 哲也 (イワモト テツヤ) | | |

| | | | |
|----------------------------------|---|--|--|
| 授業概要 | サッカーは世界で最も人気のあるスポーツであり、その魅力は自ずと証明されており、学校体育の教材としても様々な長所を持つチームゲームです。サッカーは足でボールを扱うスポーツです。歩きながら、走りながら、バランスをとってボールを扱う。加減して蹴る。思いきり蹴る。日常にはない動作で、生活では味わえない神経への刺激に満ち溢れています。またルールやマナーを学ぶことによって安全で楽しくサッカーを実践する能力と態度を養います。 | | |
| 到達目標(ねらい) | サッカーの授業を通して、生涯にわたって運動に親しみ体を動かすことが好きになってもらいたい。そのためには、十分に体を動かす楽しさ、爽快感、開放感を味わうことが大切です。サッカーの基礎技術向上を図り、チームゲームのサッカーを通じて仲間作りや運動の楽しさを感じつつ、体力の維持増進を図ることを目指す。 | | |
| 授業スケジュール | 第1回 | オリエンテーション、C-Learningで実施(全員オンライン、オンデマンド型) | |
| | 第2回 | 種目選択・種目別ガイダンス | |
| | 第3回 | 基礎技術練習(インサイドキック、トラッピング)、ゲーム | |
| | 第4回 | 基礎技術練習(インサイドキック、トラッピング)、ゲーム | |
| | 第5回 | 基礎技術練習(インサイドキック、トラッピング)、ゲーム | |
| | 第6回 | 基礎技術練習(運ぶドリブル)、ゲーム | |
| | 第7回 | 基礎技術練習(相手を抜くドリブル)、ゲーム | |
| | 第8回 | 基礎技術の応用練習、ゲーム | |
| | 第9回 | 基礎技術の応用練習、ゲーム | |
| | 第10回 | 基礎技術の応用練習、ゲーム | |
| | 第11回 | リーグ戦1 | |
| | 第12回 | リーグ戦2 | |
| | 第13回 | リーグ戦3 | |
| | 第14回 | リーグ戦4 | |
| | 第15回 | まとめ | |
| 準備学習 | 特になし。 | | |
| 履修上の留意点等 | <p>全授業回を対面で実施します。 オンラインのみでの授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型等)を実施する場合があります。 ○第1回目の授業は、全員オンラインでオリエンテーションを実施します。 授業の概要や2回目以降の授業実施について説明いたします。 C-Learningで受講し資料を参照し、課題を提出してください。 ○運動に適したスポーツウェアとシューズを着用してください。 ○オンライン授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型等) 1. C-Learning や Google Meet 等の学内システムを用いて、資料配信、音声解説、動画等を使用して授業を行い、課題を提出してもらいます。 2. 軽運動を実施する内容が含まれる授業回もあります。</p> <p>*靴は運動靴もしくは固定式のスパイクシューズを着用すること。(取り替え式のスパイクは不可)</p> | | |
| 成績評価の方法 | 70% | 平常点 | |
| | 30% | 実技点 | |
| 教科書/テキスト | | | |
| 参考書 | | | |
| 学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について | 今年度より担当する為、昨年度の評価なし。 | | |
| 関連リンク | | | |

実務経験がある教員による授業科目

| | | | |
|------------|--------------------------------------|---------|-----|
| 履修コード/科目名称 | 550101・550102 / 健康・スポーツ実習（体操・トランポリン） | | |
| 開講年度 | 2021年 | 開講曜日・時限 | 月・1 |
| 担当教員氏名(カナ) | 柳 浩二郎 (ヤナギ コウジロウ) | | |

| | | | |
|-----------|---|--|--|
| 授業概要 | 「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。 | | |
| 到達目標(ねらい) | 健康体操については、ストレッチ体操を実践し、日々の生活においてできる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび(バック転)の習得をめざす。 | | |
| 授業スケジュール | 第1回 | オリエンテーション C-Learningで実施(全員オンライン、オンデマンド型) | |
| | 第2回 | 種目選択・種目別ガイダンス | |
| | 第3回 | 健康体操とストレッチ体操 | |
| | 第4回 | ストレッチ体操、マット、トランポリン | |
| | 第5回 | ストレッチ体操、マット、トランポリン | |
| | 第6回 | ストレッチ体操、マット、トランポリン | |
| | 第7回 | 男子あん馬、女子平均台、トランポリン | |
| | 第8回 | 男子あん馬、女子平均台、トランポリン | |
| | 第9回 | 男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン | |
| | 第10回 | 鉄棒、トランポリン | |
| | 第11回 | 発展技の練習、自主練習 | |
| | 第12回 | 発展技の練習、自主練習 | |
| | 第13回 | 発展技の練習、自主練習 | |
| | 第14回 | 発展技の練習、自主練習 | |
| | 第15回 | まとめと評価 | |
| 準備学習 | 特になし | | |
| 履修上の留意点等 | <p>全授業回を対面で実施します。 オンラインのみでの授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型等)を実施する場合があります。</p> <p>○第1回目の授業は、全員オンラインでオリエンテーションを実施します。 授業の概要や2回目以降の授業実施について説明いたします。</p> <p>C-Learningで受講し資料を参照し、課題を提出してください。</p> <p>○運動に適したスポーツウェアとシューズを着用してください。</p> <p>○オンライン授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型等)</p> <ol style="list-style-type: none"> C-Learning や Google Meet 等の学内システムを用いて、資料配信、音声解説、動画等を使用して授業を行い、課題を提出してもらいます。 軽運動を実施する内容が含まれる授業回もあります。 | | |
| 成績評価の方法 | 70% | 平常点 | |
| | 30% | 実技 | |
| | 男女それぞれ易しい技から難しい技まで40~50の課題を設定してあるので、受講生はその中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。課題の達成度の評価は、受講生同士で行い、その達成度を得点に換算して実技点とする。 | | |
| 教科書/テキスト | | | |
| 参考書 | | | |

| | |
|----------------------------------|---|
| 学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について | 授業の進度が速すぎることや内容が難しすぎると感じる学生も見られるが、個々の学生の理解度に配慮し、レベルを保つよう心がける。一方で易しすぎると感じる学生もいる。個々の学生が学習成果を実感できる充実感を与える授業を展開していけるように工夫し、学習の進捗やレベルを再検討する。 |
| 関連リンク | |
| 実務経験がある教員による授業科目 | |

| | | | |
|------------|--------------------------------|---------|-----|
| 履修コード/科目名称 | 550101・550102 / 健康・スポーツ実習（ゴルフ） | | |
| 開講年度 | 2021年 | 開講曜日・時限 | 月・1 |
| 担当教員氏名(カナ) | 原田 沙織 (ハラダ サオリ) | | |

| | | | |
|-----------|--|---|--|
| 授業概要 | ゴルフは老若男女問わず、幅広い年齢層に好まれるスポーツである。生涯スポーツとして楽しく、安全にラウンドプレーをするための基礎知識や技術、およびマナーを身につける。 | | |
| 到達目標(ねらい) | この授業の到達目標は、ゴルフ用語を理解し、一連のゴルフスイングを習得して、さらにボールを打てるようにすることである。 | | |
| 授業スケジュール | 第1回 | オリエンテーション C-Learningで実施(全員オンライン、オンデマンド) | |
| | 第2回 | 種目選択、種目別ガイダンス | |
| | 第3回 | ゴルフスイングの基本(アドレス、グリップ、スイング) | |
| | 第4回 | 打撃練習(ピッチングウェッジ、9アイアン) | |
| | 第5回 | 打撃練習(ピッチングウェッジ、9アイアン) | |
| | 第6回 | 打撃練習(9アイアン、7アイアン、1ウッド) | |
| | 第7回 | 打撃練習(9アイアン、7アイアン、1ウッド) | |
| | 第8回 | 打撃練習(9アイアン、7アイアン、1ウッド) | |
| | 第9回 | 打撃練習(アプローチショット) | |
| | 第10回 | 打撃練習(アプローチショット) | |
| | 第11回 | パッティング(ゴルフコース、ゴルフクラブの解説) | |
| | 第12回 | パッティング(ゴルフコース、ゴルフクラブの解説) | |
| | 第13回 | 模擬コースのラウンドプレー(マナー、エチケットの解説) | |
| | 第14回 | 模擬コースのラウンドプレー(マナー、エチケットの解説) | |
| | 第15回 | 理解度の確認 | |
| 準備学習 | 特になし | | |
| 履修上の留意点等 | <p>全授業回を対面で実施します。 オンラインのみでの授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型等)を実施する場合があります。</p> <p>○第1回目の授業は、全員オンラインでオリエンテーションを実施します。 授業の概要や2回目以降の授業実施について説明いたします。 C-Learningで受講し資料を参照し、課題を提出してください。</p> <p>○対面授業では運動に適したスポーツウェアとシューズで受講してください。</p> <p>○オンライン授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型等) 1. C-Learning や Google Meet 等の学内システムを用いて、資料配信、音声解説、動画等を使用して授業を行い、課題を提出してもらいます。 2. 軽運動を実施する内容が含まれる授業回もあります。</p> | | |
| 成績評価の方法 | 80% | 平常点 | |
| | 20% | 総合評価 | |

| | |
|----------------------------------|--|
| | 平常点80%、総合評価(積極性、協調性、授業態度など)20%とする。 授業に出席して実技を实践することが重要である。遅刻、欠席は減点の対象とする。 |
| 教科書/テキスト | |
| 参考書 | |
| 学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について | 引き続き、生徒にわかりやすく丁寧な授業を心がけていきたいと思ひます。 |
| 関連リンク | |
| 実務経験がある教員による授業科目 | |

| | | | |
|------------|---------------------------------|---------|-----|
| 履修コード/科目名称 | 550101・550102 / 健康・スポーツ実習 (テニス) | | |
| 開講年度 | 2021年 | 開講曜日・時限 | 月・1 |
| 担当教員氏名(カナ) | 江口 淳一 (エグチ ジュンイチ) | | |

| | | | |
|-----------|---|---|--|
| 授業概要 | 生涯スポーツとして定着したテニスの基本的打球技術を習得し、ルールやマナーを学ぶことによって、生涯を通じて安全で楽しくテニスを実践する能力と態度を養う。また、授業を通して得られる様々な経験から、健康で活力のある生活の基礎となる身体運動への理解と、生涯スポーツとしての導入を図る。 | | |
| 到達目標(ねらい) | グラウンドストローク、ボレー、スマッシュ、サービスなどの基本的打球技術の習得と、ルールやマナーを理解する。また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけ自立的にスポーツを生活化する態度を養う。 さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。 | | |
| 授業スケジュール | 第1回 | オリエンテーション、C-Learningで実施 (全員オンライン、オンデマンド型) | |
| | 第2回 | 種目選択・種目別ガイダンス | |
| | 第3回 | ラケットティング、ボレー、ミニストローク | |
| | 第4回 | フォアハンドグラウンドストロークの基本技術 | |
| | 第5回 | バックハンドグラウンドストロークの基本技術 | |
| | 第6回 | フォアハンド・バックハンドボレーの基本技術 | |
| | 第7回 | スマッシュ、サービスの基本技術 | |
| | 第8回 | ラリーを通しての応用練習 | |
| | 第9回 | 半面でのシングルスゲーム | |
| | 第10回 | 半面でのシングルスゲーム(リーグ戦) | |
| | 第11回 | 半面でのシングルスゲーム(トーナメント) | |
| | 第12回 | ダブルスのルールと戦術 | |
| | 第13回 | ダブルスのゲーム(リーグ戦) | |
| | 第14回 | ダブルスのゲーム(トーナメント) | |
| | 第15回 | 理解度の確認 | |
| 準備学習 | 体育実技なので、フルに動けるよう体調管理に留意すること。 授業内でも説明するが、あらかじめテニスのルールを理解しておくこと。 | | |
| 履修上の留意点等 | 全授業回を対面で実施します。(対面の場合の注意事項は2回目の授業で説明します。) オンラインのみでの授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型等)を実施する場合があります。 ○第1回目の授業は、全員オンラインでオリエンテーションを実施します。 授業の概要や2回目以降の授業実施について説明いたします。 C-Learningで受講し資料を参照し、課題を提出してください。 ○運動に適したスポーツウェアとシューズを着用してください。 ○オンライン授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型等) 1. C-Learning や Google Meet 等の学内システムを用いて、資料配信、音声解説、動画等を使用して授業を行い、課題を提出してもらいます。 2. 軽運動を実施する内容が含まれる授業回もあります。 | | |
| 成績評価の方法 | 60% | 平常点 | |
| | 20% | 技術習熟度 | |
| | 10% | ルール等の理解 | |
| | 10% | 体力の維持増進度 | |
| 教科書/テキスト | | | |
| 参考書 | | | |

| | |
|----------------------------------|---|
| 学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について | 前年度は、オンライン授業であり、テニスの実技は行えなかった。前々年度の授業アンケート項目で概ね高評価を得た。自由記述欄において、初級者は打球技術のため、得に時間をかけて欲しいとの要望があり、上級者はもっとゲームがしたいとの要望があった。能力別の班編成等を工夫することで、個々の技術に合った楽しみ方ができるよう工夫するつもりである。また、授業終了時間が遅いとの指摘がなされたが、ボール拾いや審判など受講者が率先して行うことで、円滑な授業運営に協力していただきたい。 |
| 関連リンク | |
| 実務経験がある教員による授業科目 | |

| | | | |
|------------|--|--|-----|
| 履修コード/科目名称 | 550101・550102 / 健康・スポーツ実習 (ジョギング) | | |
| 開講年度 | 2021年 | 開講曜日・時限 | 月・1 |
| 担当教員氏名(カナ) | 小山 桂史 | | |
| 授業概要 | 昔と比べると、各種交通機関が発達し、我々ヒトは自らの脚で歩く、走る機会が減った。またデスクワークの時間が多くなり、運動不足が懸念される。その状況下で、食生活には恵まれるので、生活習慣病やメタボリックシンドロームが問題視されている。生活習慣病やメタボリックシンドロームを防ぐ一つの方法が「運動」である。運動の中でも、ジョギングは安全性が高く、特別な施設が無くとも一人で実施することが出来て、生涯スポーツとしても取り組みやすい。本授業では現代社会の運動不足による問題点を理解して、ジョギングの必要性、ジョギングの実施方法を理解して、履修期間を通じてジョギングの効果についても検討する。 | | |
| 到達目標(ねらい) | <ul style="list-style-type: none"> ・運動が必要とされる理由について理解する。 ・ジョギングの長所、短所をが他の運動と比較して考える。 ・ジョギングの実施方法を学ぶ。 ・ジョギングを定期的実施する。 ・ジョギングの効果を実際に計測して、ジョギングの効果学ぶ。 ・体力向上を目指す。 | | |
| 授業スケジュール | 第1回 | オリエンテーション C-Learningで実施(全員オンライン、オンデマンド型) | |
| | 第2回 | 種目選択・種目別ガイダンス | |
| | 第3回 | 運動前測定、目標設定 | |
| | 第4回 | 一定時間内のジョギングの距離測定(時間走) | |
| | 第5回 | 目標設定した時間走の実践 | |
| | 第6回 | 一定距離内のジョギングのタイム測定(距離走) | |
| | 第7回 | 目標設定した距離走の実践 | |
| | 第8回 | 個人走と集団走によるジョギングの実践 | |
| | 第9回 | 姿勢、環境の違いによるジョギングの実践 | |
| | 第10回 | ジョギングによるトレーニング方法の紹介と実践(間欠的なトレーニングの紹介) | |
| | 第11回 | 各自の目標に応じたトレーニング強度の設定と実践(間欠的なトレーニングの強度設定と実践) | |
| | 第12回 | ジョギングによるトレーニング方法の紹介と実践(レペティショントレーニングの紹介) | |
| | 第13回 | 各自の目標に応じたトレーニング強度の設定と実践(レペティショントレーニングの強度設定と実践) | |
| | 第14回 | 運動後測定、目標の到達度評価 | |
| | 第15回 | 課題の提出、まとめ | |
| 準備学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業時に記録したデータ、歩数計で記録したデータをまとめる。 ・授業以外の日にジョギングを実施する。 ・体重測定を実施する。 | | |
| 履修上の留意点等 | <p>全授業回を対面で実施します。 オンラインのみでの授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型等)を実施する場合があります。 ○第1回目の授業は、全員オンラインでオリエンテーションを実施します。 授業の概要や2回目以降の授業実施について説明いたします。 C-Learningで受講し資料を参照し、課題を提出してください。</p> <p>○対面授業では運動に適したスポーツウェアとシューズで受講してください。</p> <p>○オンライン授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型等) 1. C-Learning や Google Meet 等の学内システムを用いて、資料配信、音声解説、動画等を使用して授業を行い、課題を提出してもらいます。 2. 軽運動を実施する内容が含まれる授業回もあります。</p> | | |
| 成績評価の方法 | | 平常点(授業に対する取り組み): 60% | |
| | | 実技(課題等の提出を含む): 40% | |
| 教科書/テキスト | 特になし | | |

| | |
|-------------------------------|---|
| 参考書 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ測定評価学 角田直也, 須藤明治 ・人体600万年史(上)、(下): 科学が明かす進化・健康・疾病 ダニエル・E・リーバーマン(著), 塩原 通緒(翻訳) |
| 学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善に | 授業の履修者の要望に応じれる内容は出来る限り、柔軟に対応し、履修者の満足度を高められるように努力する。 |
| 関連リンク | |
| 実務経験がある教員による授業科目 | |

| | | | |
|------------|-------------------------------|---------|-----|
| 履修コード/科目名称 | 550101・550102 / 健康・スポーツ実習(卓球) | | |
| 開講年度 | 2021年 | 開講曜日・時限 | 月・1 |
| 担当教員氏名(カナ) | 末次 美樹 (スエツグ ミキ) | | |

| | | | |
|-----------|--|--|--|
| 授業概要 | 卓球の基本技術やペアでのラリー練習後、シングルス及びダブルスでのゲームを中心に授業を展開していく。 | | |
| 到達目標(ねらい) | 卓球の基本技術を習得し、シングルス・ダブルスのゲームを通して、人と競ってゲームを展開する楽しさや他人と協力してポイントを加算していく楽しさを実感してもらう。卓球及び運動することへの理解を深め、生涯における健康・体力を維持するとともに豊かな人間関係の構築を目的とする。 | | |
| 授業スケジュール | 第1回 | オリエンテーション C-Learningで実施(全員オンライン、オンデマンド型) | |
| | 第2回 | 種目選択・種目別ガイダンス | |
| | 第3回 | 用具の説明、フォアハンド、バックハンドのストローク、シングルスゲーム(リーグ戦) | |
| | 第4回 | ペア練習、シングルスゲーム(リーグ戦) | |
| | 第5回 | ペア練習 シングルスゲーム(リーグ戦) | |
| | 第6回 | ペア練習 グループ別でのシングルスゲーム(リーグ戦) | |
| | 第7回 | ペア練習 グループ別でのシングルスゲーム(対戦相手を自分で探す) | |
| | 第8回 | ダブルスでのゲーム展開の説明、ダブルスでのゲームの練習、ゲーム | |
| | 第9回 | ペア練習 ダブルスゲーム(グループ別 リーグ戦) | |
| | 第10回 | ペア練習 ダブルスゲーム(グループ別 リーグ戦) | |
| | 第11回 | ダブルスゲーム(ペアと対戦相手を自分で探す) | |
| | 第12回 | シングルス&ダブルス グループ対抗トーナメント戦 | |
| | 第13回 | シングルス トーナメント戦(グループ別) | |
| | 第14回 | ダブルス トーナメント戦(グループ別) | |
| | 第15回 | まとめ | |
| 準備学習 | 特になし | | |
| 履修上の留意点 | <p>全授業回を対面で行う予定だが、第1回のオリエンテーションのみオンラインでの実施となる。また、状況に応じてオンラインのみでの授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型等)を実施する場合もある。</p> <p>・第1回目の授業は、全員オンラインでオリエンテーションを実施する。 授業の概要や2回目以降の授業実施について説明する。 (C-Learningで受講し資料を参照し、課題を提出してください)</p> <p>・対面授業の際は、運動に適したスポーツウェアと体育館シューズを着用すること。</p> <p><オンライン授業(オンデマンド型、リアルタイム配信型等)になった場合></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. C-Learning や Google Meet 等の学内システムを用いて、資料配信、音声解説、動画等を使用して授業を行い、課題を提出してもらう。 2. 軽運動を実施する内容が含まれる授業回もある。 | | |
| 成績評価の方法 | 70% | 平常点 | |
| | 30% | 総合評価(授業への参加意欲、授業態度など) | |
| 教科書/テキスト | | | |

| | |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| 参考書 | |
| 学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について | 前年度はオンラインでの授業のため、種目別でのアンケートは実施していない。 |
| 関連リンク | |
| 実務経験がある教員による授業科目 | |